

## タイ便り No.2

赴任当初は 30℃の気温と湿度に参っていましたが、最近  
は気温も 26℃ほどに下がり、過ごしやすくなってきました。  
しかし、依然として日差しが強いことには変わりありません。

バンコク市内の活気はもの凄く、ビルが乱立しています。  
交通量も激しく、大気はとてものではありませんが綺麗とは  
言えません。しかも市内に大きな公園は数えるほどしかなく、  
日常的に目に触れる緑があまりにも少ないため、無性に緑が  
恋しくなります。観葉植物にこれまで興味を示したことはなかったのですが、そんな少な  
い緑を目にする機会を増やしたくて、いくつか部屋の中に置いています。



本棚に飾る観葉植物

### 1. どうして IT だけは中央集中？

前回の便りでも紹介しましたが、現在 UNFPA は本部に集  
中している権限を地域統括事務所へ委譲し、地域統括事務所  
と各国の事務所が迅速に業務を行えるべく準備をしていま  
す。日本の政治システムで言えば、地方分権と同じ事をしよ  
うとしております。しかし、IT に限っては依然として“中  
央集中”の仕組みとなっています。現在、地域事務所から始  
めている“全 UNFPA 全体を大きなネットワークにする”作  
業。このネットワークに組み込まれた後は、コンピュータの設定を大きく変更したくても  
出来なくなってしまいました。コンピュータが調子よく動いている間は問題ないのですが、  
一旦問題が発生して、本部以外の権限で解決できない問題となると途端に面倒なことにな  
ります。



国際会議運営も事務所の仕事

ここバンコクは、本部のあるニューヨークとの時差が 12 時間（冬時間）あります。つま  
り、バンコクの事務所が活動している時間帯は、ニューヨークは深夜となります。バンコ  
クの日中に問題が発生すると、ニューヨークが朝を迎えるまで待たなければなりません。  
本部の担当者は「問題が起きたら、いつでも電話をしてくれ！」と威勢よく言いますが、  
さすがにニューヨーク時間の AM2:00（バンコクの昼過ぎ）とかには電話できません。

事務所が世界各国に散らばっている為、電子メールでのやりとりは、仕事の中でかなり  
重要なツールとなっています。電子メールのサーバーは本部にしかなく。このサーバーが  
使えなくなるとどうにもなりません。先日、約半日にわたって使えなくなりました。そん  
なとき同僚の席を「ごめんね。不便を掛けてすまないね」と歩いて回ります。どうにかし  
たくても、ただただ本部が朝を迎えるのを待つしかバンコクの IT セクションは出来ません。

日本のソフトウェア会社では既に行っていることですが、サポートデスクの人員の一部をアメリカに移して、時差を利用して **24** 時間体制でサポートの出来る体制を整えています。全世界に事務所が散らばり、かつ本部の決済を待たずに地域事務所で決済を行える様にと **UNFPA** が仕組みを変えるのであれば、中南米、アジア・大洋州、アフリカの地域事務所、他補佐的な地域事務所の業務を円滑に進められるようにするためにも、本部ニューヨークのコンピュータセクションの一部をバンコクへ異動、もしくは権限をバンコクにも与えて、**24** 時間体制でコンピュータサポートの体制作りをするべく提案書を起こそうと思っています。

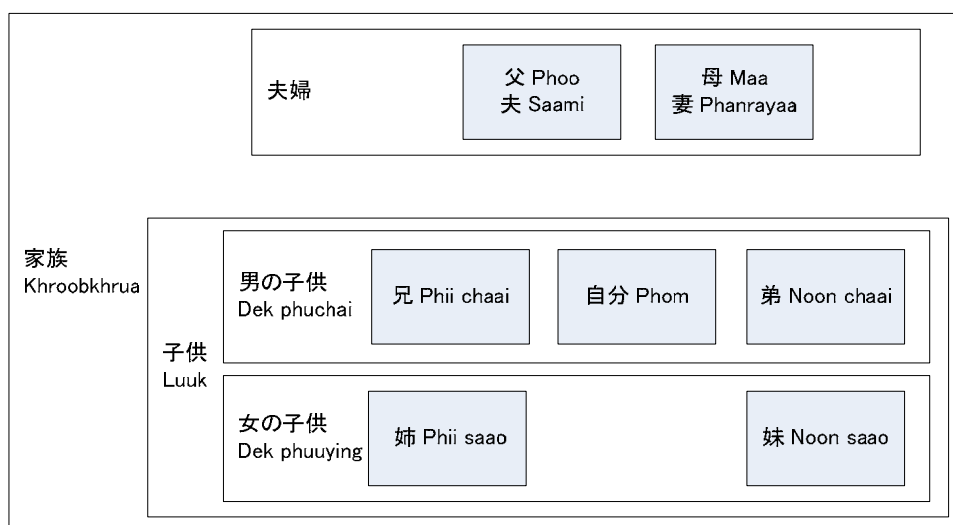
## 2. 言葉を通して文化を垣間見る

9月上旬より、タイ語を勉強し始めました。週に **2** 回、**1** 回あたり **90** 分の授業です。しかし、初めの授業 **2** 回を出ることが出来ませんでした。スタートラインでいきなり躓いたようなモノです。元々言語系の習得に時間の掛かる私、3回目のレッスンから参加したのですが、何を言っているのかさっぱり解りません。自己紹介をしている雰囲気なのですが、旅行で使うようなタイ語すらも覚えていないので、必死になって繰り返しクラスメイトが話していることに耳を傾けます。脳みそが破裂しそうになるだけで、何も喋れませんでした。出足で躓いたのはその後も大きく響き、先生に毎回心配され“落ちこぼれの生徒”となりました。



繰り返し書いて覚える！

前々から「タイ語は礼儀正しい言葉だよ」と聞いていました。旅行者向けの本でも、“言葉の最後には敬語に値する・・・”と書かれています。親兄弟姉妹などを説明する段階で、英語であれば兄弟なら **Brother**、姉妹なら **Sister** で済ませてしまうところを日本と同じように細かく関係を表す単語が存在します。簡単に家族を説明する単語を紹介します。



タイ語を少しかじっただけ。しかも文字は全く触れずに会話のみですが、“家族間でも敬語で話すんだよ”と事前に聞いていたのが、人間関係において上下関係というか、順番をキチンと押さえた上であながちウソでもないような気がしてきました。

日常的に挨拶を“サワディークラブ（こんにちは）”とするとき、込める想いも変わってきた気がします。

国連人口基金アジア・太平洋地域事務所  
情報ネットワークオフィサー  
瀬畑陽介